

# 2008年度第3四半期決算 および通期見通し

2009年2月13日

富士電機ホールディングス株式会社

# 第3四半期累計 連結決算概要 (対前年同期)

(単位: 億円)

	2007年度 3Q累計 実績	2008年度 3Q累計 実績	増減
売上高	6,022	5,403	-618
営業損益	-5	-168	-162
経常損益	16	-209	-226
四半期純損益	-5	-500	-494
平均為替レート US\$	¥117.28	¥102.85	
平均為替レート EURO	¥162.82	¥150.70	

## 売上高増減要因

為替影響	-63
連結除外影響	-256

## 営業損益増減要因

コストダウン +88	物量減 -72
連結除外影響+58	価格ダウン -79
研究開発費減+13	為替影響 -63
	資本費増 -26
	コストアップ -30
	棚卸資産評価基準見直し-35
	その他 -16
計 +159	計 -321

## 営業外損益増減要因

金融収支	+3
為替影響	-36
持分法投資損益	-14
その他	-17

## 特別損益・法人税等の内訳

- ・特別損益
  - 事業構造改革費用 38
- ・法人税等
  - 繰延税金資産の取崩し 276

(単位: 億円)

		2007年度 3Q累計 実績	2008年度 3Q累計 実績	増 減
売上高	電機システム	3,531	3,214	-317
	電子デバイス	1,371	1,191	-179
	リテイルシステム	1,165	1,016	-148
	その他	334	333	-1
	消 去	-380	-353	+27
	合 計	6,022	5,403	-618
営業損益	電機システム	-34	-31	+3
	電子デバイス	33	-136	-170
	リテイルシステム	-5	-5	-0
	その他	12	15	+2
	消去又は全社	-12	-9	+2
	合 計	-5	-168	-162

## 電機システム

市況悪化影響を受け、コンポーネント品の需要低迷により売上高は大幅に下回る。営業損益は前期並。

## 電子デバイス

▶ 半導体: 市況悪化影響により売上高、営業損益ともに大幅に下回る。

▶ ディスク媒体: 売上高は市況悪化影響を受けたものの上期の大口顧客向けの増加により上回る。

営業損益は生産数量減、減価償却費増、為替影響などにより大幅悪化。

▶ 画像デバイス: 売上高、営業損益ともに下回る。

## リテイルシステム

売上高はたばこ自販機成人識別改作作業の需要終息により下回る。

営業損益は販売管理費の削減、コストダウンの推進により前期並。

# 第3四半期 連結決算概要 (対前年同期)

(単位: 億円)

	2007年度 3Q 実績	2008年度 3Q 実績	増 減
売 上 高	2,025	1,673	-352
営 業 損 益	-11	-100	-89
経 常 損 益	2	-134	-136
四半期純損益	4	-392	-396
平均為替レート US\$	¥113.19	¥96.32	
平均為替レート EURO	¥163.87	¥126.74	

## 売上高増減要因

為替影響	-25
連結除外影響	-61

## 営業損益増減要因

コストダウン	+29	物量減	-85
研究開発費減	+13	為替影響	-25
資本費減	+7	価格ダウン	-15
連結除外影響	+16	コストアップ	-9
		棚卸資産評価基準見直し	-20

計 +65

計 -154

## 営業外損益増減要因

為替影響	-40
持分法投資損益	-4
その他	-3

## 特別損益・法人税等の内訳

・特別損益	
事業構造改革費用	17
・法人税等	
繰延税金資産の取崩し	276

# 第3四半期 部門別売上高・営業損益 (対前年同期)

(単位: 億円)

		2007年度 3Q 実績	2008年度 3Q 実績	増 減
売 上 高	電機システム	1,171	1,077	-94
	電子デバイス	503	304	-198
	リテイルシステム	362	294	-67
	そ の 他	102	101	-0
	消 去	-114	-105	+9
	合 計	2,025	1,673	-352
営 業 損 益	電機システム	-3	-18	-15
	電子デバイス	7	-71	-79
	リテイルシステム	-14	-10	+3
	そ の 他	2	3	+1
	消去又は全社	-3	-2	+1
	合 計	-11	-100	-89

## 電機システム

市況悪化影響によるコンポーネント製品の需要低迷、売上高、営業損益ともに下回る。

## 電子デバイス

- ▶ 半導体: 市況悪化影響により売上高、営業損益ともに大幅に下回る。
- ▶ ディスク媒体: 市況悪化影響により売上高、営業損益ともに大幅に下回る。
- ▶ 画像デバイス: 売上高、営業損益ともに下回る。

## リテイルシステム

売上高はたばこ自販機成人識別改作作業の需要終息により下回る。  
営業損益は販売管理費の削減、コストダウンの推進により改善。

# 第3四半期末 連結貸借対照表

## 資産の部

	08/09/30	08/12/31	増 減
現金及び預金	144	448	+304
売上債権	2,077	1,800	-277
棚卸資産	1,979	2,097	+118
その他	565	511	-54
<b>流動資産 計</b>	<b>4,767</b>	<b>4,858</b>	<b>+91</b>
有形固定資産	1,890	1,891	+0
無形固定資産	84	111	+27
投資その他の資産	2,819	2,476	-343
<b>固定資産 計</b>	<b>4,794</b>	<b>4,479</b>	<b>-315</b>
繰延資産	4	3	-0
<b>資産 合計</b>	<b>9,566</b>	<b>9,341</b>	<b>-224</b>

## 負債、純資産の部

(単位:億円)

	08/09/30	08/12/31	増 減
買入債務	1,470	1,386	-84
金融債務	3,533	4,061	+528
その他負債	2,262	2,187	-75
<b>負債 合計</b>	<b>7,266</b>	<b>7,635</b>	<b>+368</b>
資本金	475	475	-
資本剰余金	467	467	-0
利益剰余金	1,002	581	-421
自己株式	-70	-70	+0
株主資本	1,874	1,453	-421
評価・換算差額等	361	93	-267
少数株主持分	63	159	+95
<b>純資産 合計</b>	<b>2,300</b>	<b>1,706</b>	<b>-593</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>9,566</b>	<b>9,341</b>	<b>-224</b>

自己資本	2,236	1,547	-689
自己資本比率(%)	23.4	16.6	-6.8
D/Eレシオ(倍)	1.6	2.6	+1.0

(単位:億円)

	2008年度 3Q 実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	<b>-193</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<b>-30</b>
フリー・キャッシュ・フロー	<b>-223</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<b>548</b>
キャッシュ・フロー	<b>304</b>
現金及び現金同等物の期末残高	<b>447</b>

税前純損益 -136  
 棚卸資産 -138  
 売掛金 +250  
 その他 -199

第3四半期からの急激な市況悪化により通期業績予想を大幅に下方修正

(単位：億円)

	2008年度 通 期 10/30予想	2008年度 通 期 今回予想	増減
売 上 高	8,500	7,600	-900
営 業 損 益	100	-220	-320
経 常 損 益	100	-260	-360
当期純損益	0	-700	-700

平均為替レート US\$	100.55円	99.63円
平均為替レート EURO	138.84円	141.78円

### 営業外損益増減要因

為替影響	-31
持分法投資損益	-4
その他	-5

### 特別損益・法人税等の内訳

- ・特別損益
- 事業構造改革費用 150
- ・法人税等
- 繰延税金資産の取崩し 275

4Q為替レートと1円影響(営業損益)

	US\$	EURO
為替レート(円)	90	115
1円影響(億円)	0.7	0.1



# 通期 部門別売上高・営業損益(対前回予想)

(単位:億円)

		2008年度 10/30予想	2008年度 今回予想	増 減
売上高	電機システム	5,330	4,840	-490
	電子デバイス	1,760	1,380	-380
	リテイルシステム	1,460	1,400	-60
	その他	490	490	0
	消去	-540	-510	+30
	合計	8,500	7,600	-900
営業損益	電機システム	200	85	-115
	電子デバイス	-130	-320	-190
	リテイルシステム	25	5	-20
	その他	20	20	0
	消去又は全社	-15	-10	+5
	合計	100	-220	-320

**電機システム**  
市況悪化影響によるコンポーネント品の需要低迷、売上高、営業損益ともに大幅に下回る。

**電子デバイス**  
市況悪化影響により半導体、ディスク媒体を中心に売上高、営業損益ともに大幅に下回る。

**リテイルシステム**  
市況低迷の影響を受け売上高、営業損益ともに下回る。

(単位：円)

	中間	期末	年間
2008年度予想	4	0	4
2007年度実績	4	4	8

1. 本資料および本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社により何らかの行動を勧誘するものではありません。
3. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。